
Esnoga de Malhada Sorda

について

エスノガ・デウ・マリヤーダ・ソルダ (Esnoga de Malhada Sorda) (マリヤーダ・ソルダ・シナゴーク)、アルメイダ

最近一般的にエスノガ (Esnoga) として知られるまで、この最近復元された建物は16世紀にまでさかのぼります。カーサ・ド・レロジオ (Casa do Relógio) (時計の家) と呼ばれ、かつては秘密のシナゴークとして使用されていた可能性があります。

しかし、エスノガ (Esnoga) には伝統的にシナゴークに関連する要素がまったくありません。女性風呂を指す構造も、入り口のメズーザーも、東向きのヘジャルもありません。これらすべての要素がないことは、隠蔽の戦略として読み取ることができ、建物内に既存のキリスト教の図像を追加する必要があります。

実際、内部は普通の住居の外観で、壁の1つには聖水フォントの上に十字架があり、おそらく異端審問官の追求を思いとどまらせるためと思われます。聖櫃として正確に特定することはできませんが、その目的のために密かに適応された可能性のある食器棚を見つけることもできます。

エスノガのファサードには、16世紀のマヌエル様式の後期の窓と、17世紀のものと思われる日時計があります。

問い合わせ先

Rua do Relógio, 6355-080 Malhada Sorda

電話 : +351 271 566 248 / +351 969 513 661

Eメール: jfmalhadasorda@sapo.pt
